

三世代共存に根ざしたまちづくりへの取り組み ～子ども会からの発信～



【堀田学区】

■世帯数：3,238 世帯

■人 □：6,458 人

■面 積：0.515k㎡

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

主に堀田小学校で季節ごとに子どもから高齢者までの多世代が参加・交流できるイベントを企画開催。

平成 23 年度 春のお楽しみ会「春の遠足」225 人参加

秋のお楽しみ会「陶芸教室」90 人参加

平成 24 年度 春のお楽しみ会「春の遠足・パンづくり」164 人参加

秋のお楽しみ会「陶芸教室」100 人参加予定

もちつき大会・大縄とび大会 200 人参加予定

【住民への PR 方法】

チラシの各戸配布

【アピールポイント】

区政協力委員と各種団体との連携が円滑であるため、住民全体のニーズを引き出しやすく、伝達も行き届きやすいことから、三世代共存に根ざした行事企画が立てやすい。

2 きっかけ、背景

平成 23 年度に、学区子ども会代表が世代交代し、それに伴い、昭和 26 年の設立以来、初めて規約や組織体制、活動内容の改革が行われた。活動が個別化傾向にあった状況から、区政協力委員の協力をはじめ、各種団体、住民との連携や

情報共有がより深まり、三世代共存に根ざしたまちづくりへの取り組みとして、積極的な行事企画・運営・発信に努め、行事への参加者数も年々増加し、地域活動への参加意識が高まっている。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、子ども会
計約 15 人

(2) 他団体との協力

愛知キャンプカウンセラー協会

(3) 運営協力

学区子ども会は2年任期が前提だが、役員の負担を少しでも軽減するため、子育てと就労などの両立を重視し、代理制度による役割分担や伝達にはメールを多用し、簡潔で密度の高い連携を行うことにより継続して着任する役員も増えた。

4 実施のスケジュール

学区連絡協議会にて行事企画について提案



学区子ども会幹部会にて再度構築



学区連絡協議会にて行事告知



各単独子ども会会長よりチラシ配布



行事の実施

5 成果と課題

(1) 成果・効果

活動への参加者が増え、住民間の交流が深まった。

(2) 苦労した点

参加者の確保に苦労した。

(3) 今後の課題・展望

活動の継続、担い手の世代交代、活動資金の確保が課題。行事を通じて町内会未加入世帯の参加意識を高めていきたい。

(4) メッセージ・アドバイス

区政協力委員をはじめ、各種団体との連携を積極的に図ることにより、住民への伝達も行き届き、一人でも多くの人々が地域活動に参加意識を持つことにつながる。